

表紙に使用した画像は、漉いた和紙を折りたたみ、絵具を染み込ませて模様を描いた「折染め」で、委員自らが制作した「世界に一枚だけの和紙」です。

続報!
**道の駅
リニューアル**
**関連4議案を
ピックアップ**

P.2-3

P.4-5
令和5年度一般会計決算

**101億8450万円
を認定!**

ポストコロナ元年に
推して進んだ取組は



実りに感謝!! 「皆で力を合わせ」 裏表紙に関連記事

No.113
古

古
埼玉県小川町議会

力

力

古
2024
9月定例会

古
会期
9/3~9/26

議員の聴く×つなぐ
P.16

小川町朗読ボランティア
「あじさい」を取材

一般質問
いざ! 出陣!!
P.10-13
7人のサムライ
町の課題に物申す

聴→聴
に込めた思い

編集のモットーである「町民の声を聴く×つなぐ」の「聴」の文字には、これまで以上に全16議員が一丸となって町民の声に向き合う決意と、「**十六**議員の耳と心できく」ことを表現した【聴】という、オリジナル文字を作成・採用しました。

続報

道の駅おがわまち リニューアル関連議案を可決

楽し
みです

群馬県川場村の「川場田園プラザ」の
ように、近隣の皆さんがあなたがたくさん来てく
れるといいですね！楽しめます。

澤田行雄さん（腰中）



西中学校の改築以来、久々の大型事業として動き出した「道の駅再整備」。“大型”は、予算規模
原案のとおり決着を見たが、賛否が割れた議案もありました。議会目線で事業の進捗を続報

だけでなく、町民からの「期待度」も！以下の関連4議案はいずれも議論百出のもと、
します。

関連議案 3

一般会計補正予算

周辺整備に5000万円増額

要因

駐車場拡張工事…雨水対策のための側溝の整備
交流広場工事…雨水浸透処理施設の設置
管理棟・収納施設…下水道接続に伴う配水管の切り回し
安全対策…シャッターの設置や防犯・防火対策等
資材価格や人件費の増加

財源

埼玉県ふるさと創造貸付金を活用
償還期間は17年を予定（年間約350万円）



要望書の提出へ
関連記事P.14

関連議案 4

賛成13-反対2

工期の延長・工事費の増額

内容

- ①令和7年1月31日→令和7年3月31日まで
※リニューアルオープンは4月中旬の予定
- ②3520万円増額→13億1552万3000円
※新築・改修工事分

理由・背景

- 地中障害により基礎杭の施工方法を変更
想定より岩盤が硬く、基礎杭の貫入ができなかった。
地中障害の撤去・岩盤に対応できる工法への変更。
- 大雨による基礎施工の遅延が発生
局地的短時間豪雨や台風に伴う大雨による排水対応。



地域活性化と 交流拠点に期待

財源の多くに国及び県の補助金等を活用して
いるが、その要件は年度内の事業完了が基本である。工期延長や工事費増額の決定は、それぞれに苦渋の選択を迫られた。

議会として議論を重ね、要望書の提出に至る。
「地域活性化と多くの交流が生まれる拠点」の整備に期待を膨らませ、今後も事業の進捗をしっかりとチェックしていく。

次ページは議案質疑

関連議案 1

手漉き和紙・有機の里 施設の設置及び管理

内容

- ①産業地域振興・休憩施設及び伝統工芸施設、交流広場
- ②主な事業
紙漉き体験、和紙製品の製造・販売・展示、農産物加工品・飲食物・その他物品の販売、観光・道路情報の発信、道路利用者への休憩場所の提供、町民相互及び町民と来訪者の交流。
- ③利用料金（上限の設定）
- ④指定管理者による管理

関連議案 2

指定管理者 TTC・イルグループ

内容

事業計画書に基づいてプロポーザル方式で選定。
契約期間は7年4か月（準備期間4か月も含む）。
委託料は7年間で総額5100万円（光熱水費は含まず）。

企業概要

株式会社TTC 道の駅の運営事業に力を入れ、商品企画力や販促力に強みを持つ。実績は、道の駅「くるくるなると」「なんぶ」「足柄金太郎のふるさと」等。
イル・コーポレーション株式会社 ビルメンテナンス事業を中心に官民連携事業に力を入れている県内企業。実績は東松山市の「農林公園」・鴻巣市にぎわい交流館「にこのす」等。



運営は 民間ノウハウを生かして

従来の「埼玉伝統工芸会館」指定管理料は、年間で約4300万円を要していたが、今後は約2000万円に抑えられる。また、実績に伴って、売上の一部が町に納付される計画である。今回指定管理者となった2社は、管理運営候補者として、施設の設計段階から事業に参画してきた。契約期間は7年間…それぞれが持つ強みを生かした「攻めの運営」に期待している。



「小川町」の名を全国に
知らしめる自信があります。
全国で道の駅を多数
運営している経験を生かし、
SNS等を駆使して、道の
駅おがわまちを盛り上げて
いきます。

河越 雄貴さん
(株式会社TTC取締役)

高い「評価」と「期待」 さらなる「期待」

「決算議会」と称される9月定例会は、前年度に取り組まれた各種の事業や住民サービスに係るから5類に引き下げられ、対面での行事やイベントが再開された令和5年度。ポストコロナ元



PICK UP 01 こども医療費の支給 7184万円

Q 対象年齢を15歳から18歳まで拡大した初年度の実績等は。

A 受給者数は前年度比で484人増えました。また、こども医療費全体に占める16～18歳の割合は約11%・770万円となりました。県内において、現物給付も拡大・浸透したことにより、町の子育て世代の経済的負担の軽減と、児童の福祉の向上が図られていると捉えています。

PICK UP 03 庁舎トイレのバリアフリー化 1144万円

安心の多機能トイレに改修工事の内容は、**AQ** 「バリアフリー法」や「埼玉県福祉のまちづくり条例」に準拠し、車椅子対応の大便器やオストメイト・自動開閉ドアなどを設置しました。また、壁の改修工法等を見直し、安全性・利便性・耐久性の向上を図る中で、全ての利用者が安心して使用できる改修が遂んだと捉えています。

ポストコロナ元年に 推して進んだ取組は

費用と効果をチェックする重要な機会です。新型コロナウイルス感染症の取り扱いが2類相当年における町の取組を振り返り、議会が寄せた「評価」と「期待」をピックアップします。



PICK UP
02 道路・公園の照明灯LED化
1億4028万円

A 電気料金は、燃料調整費等の増減による変動があるので単純な比較はできません。参考として令和5年度の月平均である「道路照明灯16.1万1000円・園内灯9万1000円」と比べ、令和6年8月は「道路照明灯95万円・園内灯4万7000円」となり、いずれも4割超の縮減となつています。

監査委員の意見(抜粋)《人生100年時代を見据えた健康寿命の延伸》



やまぐちかつし
山口勝士

歳出においては、各施設や設備の老朽化対策が急務となることから、**個別修繕計画の策定や推進体制の整備**が必要と考える。また、医療・介護の需要増などで、社会保障関連経費の増加が見込まれるため、その抑制に向けた取組を望む、「人生100年時代」を見据えた「健康寿命の延伸」につなげる予防医療や介護予防の取組に期待する。



ふくしまとかあき
福島崇昇

ただ
議員が質した

275のこと

令和5年度の各会計決算をはじめ「手話言語条例」の制定「学童クラブ条例」の一部改正など、全20議案を審議しました。

連日、執行部と真剣な議論を開催し、16議員で質した疑義は275項目。

町民生活に身近な質疑をピックアップします。



9月定例会の会議録は令和6年12月上旬から見られます。二次元バーコードからインターネットで「小川町議会 会議録」と検索

Pick up!

タブレット
利用授業

5~6時間

下水道整備 済

97%

知つておきたい！この数字

不納欠損とは、地方税法の規定に基づき税金の徴収権の消滅や滞納義務を消滅させることです。

令和5年度一般会計歳入歳出決算

自主防災組織の強化
必要な資機材への補助と情報共有を

貴重な発見となった「螺旋状鉄鋤」に弥生時代の「小川町」を想う。
古から脈々と続く人々の営みを明らかにしてくれる発掘調査。
関係者の尽力に感謝します！

評価

期待

AQ 埋蔵文化財調査の成果等は、発掘調査の成果は、八幡台遺跡（大塚）で「住居を伴わない縄文時代中期の単独埋甕」や、中井遺跡（上横田）で「古代の住居跡4件」等を検出しました。

また、令和5年度において、平成29年度に峯原遺跡（上横田）で出土した「螺旋状鉄鋤」などを町指定文化財としました。これは、弥生時代の腕輪で、長野県で多く出土される遺物でした。が、当町まで分布が至ることを証明するものとなりました。

評価

期待

Q 資機材への補助及び組織強化のための取組は、令和5年度は7団体（行政区）に対して、発電機・ホース・消火器・クイックテント・救助活動用具の購入に補助金を交付しました。今後も区長会や地域の防災訓練等を通じ、情報の共有を図り、自主防災組織の強化に努めます。

AQ 適正、適法に基づく手続は、不納欠損に至るまで、滞納者に対し、督促状・催告書の発送や、

夜間休日の納税相談等で納税を促しています。併せて、預貯金や動産、不動産等の財産調査を実施し、結果に基づき処理を進めています。

期待

AQ 「NESTO」の改修内容は、屋根西側面の一部葺き土撤去及び杉皮剥がし、防水シートと瓦の葺き直し等を行い、雨漏りに対する修繕を行いました。建築後100年になる古い建物で屋根自体は従来のままでした。そのため、

Q 公共施設の屋内にあるので、時間外には施錠されていて使うことができないという課題がある。また、女性のプライバシーに配慮した三角巾の必要性は。

AQ 今後、24時間営業のコンビニエンスストアや深夜まで営業しているドラッグストア等に協力してもらうことが考えられます。

AEDの設置 また、三角巾はプライバシー保護のほか、止血や負傷箇所の固定等、応急処置にも使用できますので、順次設置していく方向で検討します。

他の箇所から雨漏りが生じることも考えられますので、今後も適切な管理に努めます。

期待

AEDの設置

評価

AQ 酒蔵めぐり 実績と今後の展開は。

口ナ禍の令和2・3年は中止となりましたが、令和5年度で9回目を数えました。近年では日本酒に限らず、「ワインリーやクラフトビールが加わり、事業を展開している」ことになりました。来場者からは、好評を得ていますので、町としても協力し続けます。

期待

AQ 実績と今後の展開は。

これからも商工会と、地域の商工業発展の支援をしていきます。小川町商工会 経営支援員 前川翔太さん



Q 当町では、令和7年度に高齢化率が43・5%と推計されている。高齢化が進む中で、窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入する自治体が増えているが。
A 長生き支援課長 加齢等により耳が聞こえにくい方が、安心して窓口で相談ができる環境づくりに寄与できるものと捉えています。今後、軟骨伝導イヤホンの導入を検討していきます。

Q 令和6年1月に認知症基本法が施行された。認知症への理解が不可欠だ。「認知症サポーター養成講座」に次ぐ展開等は、構成する「チームオレンジ」で構成する「チームオレンジ」で設置を考えています。



ときがわ町で導入されている軟骨伝導イヤホン

高齢者支援
たかはし
高橋さゆり 議員
が町に問う！

窓口に軟骨伝導イヤホンを導入を検討しています
答弁 導入を検討していきます

Q 以前にも質問したが、帯状疱疹ワクチン接種費用の助成は、小中学校統廃合も注視しながら、方向性を検討していくます。

●その他質問

A 健康福祉課長 今後、国における審議を踏まえ、国・県の動向も注視しながら、方向性を検討していくます。

Q 当町では、令和7年度に高齢化率が43・5%と推計されている。高齢化が進む中で、窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入する自治体が増えているが。

A 長生き支援課長 加齢等により耳が聞こえにくい方が、安心して窓口で相談ができる環境づくりに寄与できるものと捉えています。今後、軟骨伝導イヤホンの導入を検討していきます。

AQ 百歳体操の実績は、長生き支援課長 平成28年度に「住み慣れた地域で安心して健康で自立した生活が送れる地域づくり」を目的に、介護予防サポート養成講座を開催しました。講習者を中心に5会場からスタートし、令和5年度で35会場、サポートは294人まで拡大しました。

AQ 現場からの声や要望は、長生き支援課長 サポーター支援のため「介護予防サポートフォローアップ講座」を実施したこと、「情報交換で今後の活動の参考になった」との声を受けました。一方「参加者の減少」「サポートの不足」「中心者やリーダーの高齢化」との声もありました。

AQ 課題解決に向けた対策は、長生き支援課長 いきいき百



百歳体操を支えるサポーターの交流

介護予防
やまとちかつし
山口勝士 議員
が町に問う！

いきいき百歳体操の実績は294人まで拡大しました
答弁 35会場・サポートは294人まで拡大しました

歳体操の「のぼり旗配布」「冊子・いきいきスマイルライフの作成」等も実施しました。今後も、百歳体操の魅力や活動を広報・ホームページに掲示するなど、地域を支えるサポーターや興味のある方に、積極的な啓発を行っていきます。

●その他質問

Q 当町では、令和7年度に高齢化率が43・5%と推計されている。高齢化が進む中で、窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入する自治体が増えているが。

A 長生き支援課長 加齢等により耳が聞こえにくい方が、安心して窓口で相談ができる環境づくりに寄与できるものと捉えています。今後、軟骨伝導イヤホンの導入を検討していきます。

小学生の頃、落ち葉が膝まで溜まつた山道をかき分けて歩くのが楽しかったです。(K・Tさん 55歳)

七五三ではちとせ飴が楽しみ、初めての口紅を塗ってもらい喜んだことを覚えています。(K・Kさん 60代)

つづく！

7の視点

一般質問

「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言を交えて町に考え方を質す。
最長75分に及ぶ論戦。前向きな答弁を引き出せるか否か腕の見せどころ。
いざ出陣！「7人のサムライ」が町の課題に物申す。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



- P.13 **交通安全**
- P.13 **農業政策**
- P.12 **太陽光発電**
- P.11 **介護予防**
- P.10 **高齢者支援**
- 広域連携**

Q 児童生徒数の適正規模の観点から、自治体を越えた小・中学校再編は、1つの学校を設置する「組合立学校」の事例があります。町内または近隣町村で児童生徒の適正規模が確保できなくなった場合の対応の一つと捉え、研究していきます。

Q 複数の自治体で、大型イベント施設の共同運営は。

A 生涯学習課長 施設の所在地による住民の利便性等、課題も少なくないと考えます。先行事例の調査を行うなど研究していきます。

Q 「公共施設個別施設設計画」では、「劣化が見られ、安全上、機能低下の兆しが見られる」とある。

A 学校教育課長 現櫻台中学校新校にふさわしい整備を

A 学校教育課長 近隣自治体で1つの学校を設置する「組合立学校」の事例があります。町内または近隣町村で児童生徒の適正規模が確保できなくなった場合の対応の一つと捉え、研究していきます。

Q 複数の自治体で、大型イベント施設の共同運営は。

A 生涯学習課長 施設の所在地による住民の利便性等、課題も少なくないと考えます。先行事例の調査を行うなど研究していきます。

A 学校教育課長 現櫻台中学校新校にふさわしい整備を

A 学校教育課長 現櫻台中学校では校舎及び体育館のLED化、体育館床面の改修・グラウンドの整備等を行っています。現小川小学校では屋上防水・内装の改修・照明のLED化など、劣化対策や機能改善の工事を計画的に実施できるよう事前調査を始めています。



清潔な学び舎であってほしいですね

思い出の秋イベント

Vol.27

Mini Interview P13までつづきます！
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考え方」

おがわぎかれい No.113 2024.11.1発行 | 10

般質問



せいじよしのり
関根慶則議員
が町に問う！

パトリア 答弁 令和6年中に方向性を示します

福祉施設機能の再構築は



すずきひでなお
鈴木秀尚議員
が町に問う！

太陽光発電 答弁 条例に基づき協議・指導します

管理に係る条例の有用性は

Q 教育と福祉の両面で生かす観点から、屋内プールを改修し活用しては。

A 長生き支援課長 プールは老朽化に伴い修繕費が増大し、安全かつ安定的な運営が懸念されるところから、改修することは難しいと考えています。

Q 災害時や平時の利便性のためには、シャワールームの設備を。

A 長生き支援課長 今後の方向性の中で併せて検討してきます。「健康づくりと介護予防に取り組める施設」と決めてはや6年。福祉施設機能の再構築は、共施設と併せて設備の更新費などを考慮しながら、令和6年内に今後の方針性を示します。

Q 適正な設置及び管理等に関する条例施行から2年半、有用性はある。

A 環境農林課長 災害時に近隣の屋根等が壊れても直せる資金力があるか・事業終了後のパネルの処分や土地の原状回復について等、条例に基づき事業者と協議・指導します。また、事業者が変わる際には、町も周知したり、説明会に出たりして関わっていきます。

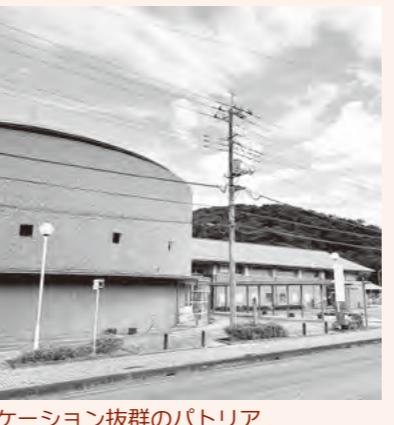
Q クーリングシェルターや快適な避難所、町民のホールなどに活用するため、空調の修理を。

A 長生き支援課長 施設の目的や機能を考えるとともに、町全体の施設の在り方・状況等を含めて検討します。



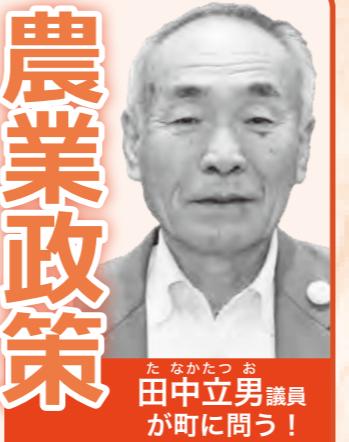
Q 環状1号線完成は古屋線まで延伸の計画は。

A 都市政策課長 腰越地内の県道熊谷小川秩父線との交差点部分までについては、令和7年度中の完成を目指しています。延伸については、現在東松山県土整備事務所にて検討中です。



Q 環状1号線完成の時期と旧根古屋線まで延伸の計画は。

A 長生き支援課長 他の公共施設と併せて設備の更新費などを考慮しながら、令和6年内に今後の方針性を示します。



たなかつお
田中立男議員
が町に問う！

農業政策の推移は

A 答弁 令和2年時点で52・1%減少しています

Q 農業従事者の高齢化が課題となる中で、当町の農家数の推移は。

A 環境農林課長 農林業センサスにおける主副業別農家数は、令和2年の調査において主業26戸・準主業21戸・副業的213戸で計260戸となっています。20年前（平成12年）の農家数543と比べ52・1%減少しています。

Q 町として農業従事者への取組等は。

A 環境農林課長 「おがわ型農業」に取り組む生産者等への支援として、トラクターなどの農耕機械や生産施設の整備に係る経費に補助をしています。

Q 消滅可能性自治体

Q 「人口減少」に対する取組等は。また「人口戦略会議」から示



「猛暑の夏」刈り取り間近の稲穂

Q された「消滅可能性自治体」への見解は。

A 政策推進課長 令和2年に第2期総合戦略を策定し、様々な施策を展開してきた結果、令和5年は「社会増」の状況となりました。消滅可能性自治体は、将来推計人口等の結果として受け止め、今后も持続可能なまちづくりに有効な施策を確実に進めています。

Q えるが現状は。

A 町・警察署の役割として、啓発や教育に係る連携など現状は。

A 防災地域支援課長 交通安全啓発グッズの街頭配布・交差点での立哨指導・青色回転パトロール車での広報・小学校での交通安全教室など、各交通安全団体が特色ある活動を実施しています。

Q 幼少期からの学びが重要と考

A えるが現状は。

A 各交通安全団体が特色ある活動をしています



しまざきたかお
島崎隆夫議員
が町に問う！

交通安全管理の充実を

A 答弁 各交通安全団体が特色ある活動をしています

Q 安全教室、2年生から6年生の登下校時の自転車指導・中学校での自転車点検と安全な乗り方指導を行っています。

Q 和紙について考える日と同時に、町の未来を話し合う機会にしたいが。



町内の横断歩道の一つ。細心の注意を！

Q 6年前の9月、カナダで誰かが演出しているような素晴らしいオーラを見ました。

F・Mさん 76歳

Q 幼稚園で行った栗拾い。家で作ってもらった栗ごはんはおいしかった。

A・Hさん 36歳

Q タスキを渡す駅伝です。苦しくても必ずゴールが来ると思いながら青空の中を走りました。

Y・Tさん 20歳

Q 秋が来れば思い出す…遠くに燧ヶ岳、池塘に写る鮮やかな青空と草紅葉。静かな尾瀬ヶ原が大好きです。

F・Mさん 74歳



小川町議会だよりは

キャブション（写真説明）にコダワル！

単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。

感動の一瞬 6年前の9月、カナダで誰かが演出しているような素晴らしいオーラを見ました。（F・Mさん 76歳）



さらに充実!! 常任委員会の活動レポート

総務

救命講習の実施（7月18日）

救命率の向上へ

小川消防署において救命講習を受講し、AEDの取扱いや心臓マッサージを実際に行いました。

応急手当の重要性を再認識するとともに講習修了後には「AEDの取扱いは我々任せろ」と言わんばかりの自信にあふれる笑顔が見えました。



心臓マッサージの10分間は長く感じた



町の中小企業を支える小高事務局長

経済建設

商工会との意見交換（10月8日）

中小企業の経営改善へ

加入状況や様々な支援業務について映像を交え、説明を受けました。

町内の中小企業・小規模事業主の経営改善や、地域振興・関連団体との連携など多岐にわたる役割・活動について学ぶことができました。

3常任委員会の調査研究

総務

テーマ：「デジタルによる持続可能なまちづくり」

目的：誰一人取り残さないDXによる住民サービスの向上に資するため

視察先：静岡県小山町・埼玉県府ほか

経済建設

厚生文教

（共通）テーマ：「若年女性が求める就業機会の創出と労働参加につながる環境整備」

目的：若年女性の移住定住と「消滅可能性自治体」からの脱却に資するため

視察先：静岡県長泉町・山梨県忍野村ほか

力強い一步

議長 高橋 功人

「道の駅リニューアル」関連議案への対応を振り返ると、周辺整備に関する増額予算で初めて「集中審議」を行いました。また、本体工事の工期延長等による請負契約変更の追加議案では、複数の議員が真剣に討論を交わし採決に臨みました。さらに、閉会直後には、議会の総意として「要望書」（P.14参照）を執行部に提出。一連の取組に、16人の歩みが力強くなつたことを実感できました。議会の歩みは止まりません！



令和7年1月26日(日) 午後

「プレ懇談会」を リリックで開催決定

当日は、3グループに分かれてワークショップ形式での開催を予定しています。

参加者が能動的・対話的に臨めるように企画していきます。聞くだけではなく全員が話し合い「分かる」だけではなく「分かち合う」ことを重視したいと考えています。

特別委員会の設置へ

「議員定数の見直し」 現状維持か削減か

現行の16人でいくか、削減するか。

将来人口や立候補のしやすさ・投票率等を考慮し、町民の皆さんとの考え方踏まえ、任期中に一定の結論を見出せるように取り組みます。来るる12月定例会で関連の特別委員会を設置する予定です。

プレ懇談会の日程が決まり、いよいよ町民の皆さんとの意見交換会が実現します。また「議員定数の見直し」についても、任期中に結論を出せるように話し合いを進めています。適正な人数をしつかり考えていきます。そして、今次定例会では、道の駅リニューアル関連議案について様々な議論を行いました（P.2-P.3特集）。10月4日には議会から町執行部に対して「要望書」を提出しました。これも、16人の大きな一步だと考えます。

16人の一步 進み続ける議会

町長に要望書を提出

要望書

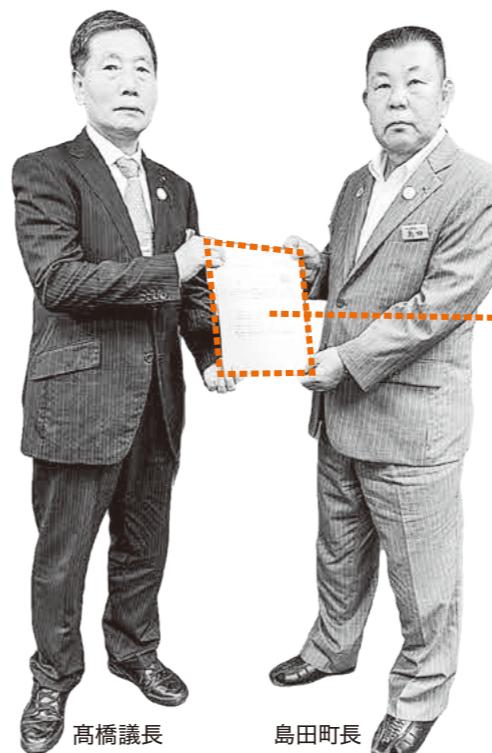
要望1 「道の駅リニューアル」

町民の期待と信頼に応えるよう、これ以上の工期延長や予算の増加については一層慎重に判断していただきたい。

要望2 今後実施される建設工事等

規模の大きな建設工事等が計画通りに実施できるよう、現場経験のある技術職員の配置など職員体制を構築するとともに、精通した職員の確保について一層努力をしていただきたい。

P.2-3 参照



高橋議長

島田町長



小川町朗読ボランティア「あじさい」を取材しました

目の不自由な皆さんに
音声CDで
「議会報」をお届けしています



録音

議会報が完成すると直ちに録音作業
3時間以上かけて少しづつ録音しています
(ご苦労や工夫)
◎見開き特集は左ページからの録音で全体構成を大切に
◎表紙などの写真は、雰囲気や表情を言葉に
◎専門用語は間違えのないよう確認し取りなおしも



録音機材

編集

録音した音源をパソコンで少しづつ編集作業
(ご苦労や工夫)
◎聞きづらくならないよう「間」を考慮して編集
◎パソコン画面とにらめっこ 目が疲れます



送付
完成したCDを目の不自由な方たちへ送付

大切な情報をみんなで共有していくことは、とても重要です。それを支えてくれている方々に心から感謝します。そうした思いに応えるためにも、これからも真摯に編集に取り組んでいきたいと思います。

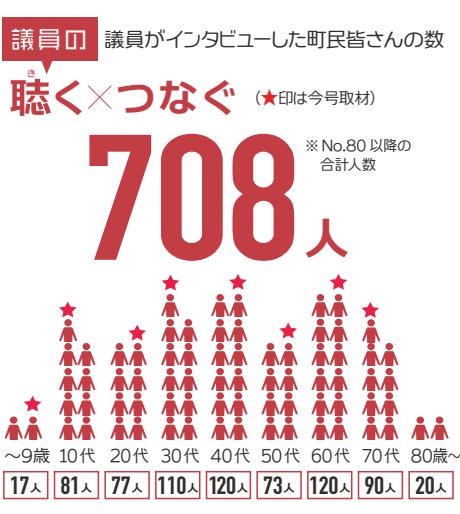
※「あじさい」は町広報・社協広報クローバーの録音もしてくれています。



取材者
山口

次の定例会は**12月4日(水)** 午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは小川町ホームページへ



•今号の表紙•
皆で力を合わせ
今年も家族総出で稲刈りを実施。
作業の合間にいただく、新米の塩むすび
が最高!「いただきま~す」。

編集後記 議会広報委員となり、もう1年? そこで思い出すのが、哲学者ポール・ジャネの「主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く評価される」という言葉です。過ぎた1年はあっという間です。令和7年は、新しい物事に取り組み、1日1日をより充実させ、さらに読んでいただける議会報づくり「頑張ります」。(岡部)

発行責任者: 小川町議会議長 高橋功人
編集: 議会広報発行特別委員会
委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚
委員 高瀬 勉・関根慶則
岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています